

アサヒアレックスホールディングス 株式会社

DX宣言書

2025年10月3日
アサヒアレックスホールディングス 株式会社
代表取締役 石倉 茂雄

□ 企業理念

私たちは、家と住まいの環境づくりを通して、「ゆたかであたたかい幸せな暮らし」を提供することで、お客様・社員・地域・社会全体に貢献します

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ 顧客データとデジタル基盤を整備し、AIやVRを用いた最適な提案や体験型サービスを通じて、顧客満足度を高め、顧客との長期的な関係の構築を目指します
- ◆ 業務プロセスのデジタル化により、作業の効率化と負担軽減を進め、社員が働きやすい環境を整えます
- ◆ デジタル基盤の構築により、変化に強くコスト効率の高い経営体制を確立し、安心・安全・快適な住環境とサービスを提供することで、地域に必要とされる持続可能な企業体を目指します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2026年9月)

戦略 「顧客情報の統合とデジタル基盤の構築」

- 施策
- ・ 各事業部門が保有する顧客データをCRMで統合し、グループ全社共通の顧客データベースを構築
 - ・ 安心、安全なデジタル基盤の構築に向け、情報セキュリティ対策とBCP対応を強化
 - ・ 自社ブランドの認知拡大と潜在顧客へのアプローチ体制を確立するため、SNSやWebを活用したデジタルマーケティングを強化
 - ・ 部門を横断した情報共有と業務効率化に向けて、営業・設計・施工フローをデジタル化し、全社的な業務標準化とペーパーレス化を推進
 - ・ 生産性向上に向けて、RPAを導入し、定型業務を自動化
 - ・ 人材育成や組織文化の継承と変革に向け、資格・スキル管理や表彰・休暇制度をシステム化するとともに、デジタルスキル向上やキャリア形成の支援を推進

➤ フェーズ2(2026年10月 ～ 2027年9月)

戦略 「顧客体験価値の向上」

- 施策
- ・ 顧客体験価値を高めるため、リフォームスタジオを開設し、VR・ARを活用した体験型サービスを提供
 - ・ 生産効率と高品質な住まいづくりを実現するため、スマートファクトリーの稼働を開始
 - ・ AIを活用した最適プラン提案システムを導入し、顧客に合わせた最適な提案により競争力を高め、高付加価値な住宅サービスを本格展開
 - ・ 熟練した技術を継承し、将来の専門人材を育成するため、デジタル技術を活用した次世代大工育成プログラムを開発し、教育体制を強化

➤ フェーズ3(2027年10月 ～ 2028年9月)

戦略 「データ活用による成長戦略の深化」

- 施策
- ・ 顧客との長期的な関係の構築および強化に向けて、蓄積された顧客データを活用し、紹介率向上施策や関連サービスの提案等を最適化
 - ・ 販路拡大に向けて、オンライン販売プラットフォームを開発し、顧客接点と販売チャネルを拡充
 - ・ 迅速な意思決定を可能にするため、経営ダッシュボードの活用により、経営情報(財務情報・販売実績・進捗KPI・顧客満足度等)を可視化し、次期プロジェクトの優先順位付けやリソース配分を最適化

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役がDX総責任者を務め、DX推進本部がDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ デジタル化による業務時間短縮率 : 2024年度比 5%削減(～2026年9月)
- ・ ペーパーレス化推進率 : 2024年度比 5%向上(～2026年9月)
- ・ デジタルスキル向上研修参加率 : 80%以上(～2028年9月)



第四北越銀行